

THE ROTARY CLUB OF NAGOYA-CHIKUSA



なごや
ちくさ
WEEKLY

名古屋千種ロータリークラブ
承認 1982年
例会日 火曜日 12:30
例会場 愛知厚生年金会館
事務局 千種区池下一丁目4番18号
井上ビル4F D号
Tel 763-5110
会長 水野民也

No.43 (1982~1983)

MANKIND IS ONE-
Build Bridges of Friendship
Throughout the World

人類はひとつ
世界中に友情の橋をかけよう
1982~83年度RI会長 向笠広次

第43回例会 昭和58年6月21日(火)晴

クラブアセンブリー 於 松楓閣

◇ “奉仕の理想”

◇ 出席報告

会員 47名 出席 31名
出席率 65.96%

◇ 前回 6月14日(修正出席率) 100%
make up

秋山君(6/16瑞穂), 安藤君(6/20あま), 古川君(6/15和合), 浜口君(6/18守山), 橋本君(6/20あま), 加藤(大)君(6/15名北), 久保田君(6/18守山), 日下君(6/18守山), 松居君(6/13あま), 水野(賀)君(6/13あま), 笹野君(6/18守山), 菅原君(6/15名北), 杉山君(6/9東南), 鈴木(正)君(6/17北), 谷口君(6/13あま), 寺澤君(6/15南), 都築君(6/18守山), 和田君(6/18守山)

◇ ビジター紹介 29名

◇ 誕生日祝福

三輪君(6/22)

◇ ニコボックス

松居君(松楓閣のPRさせていただきます), 三輪君(誕生祝)

◇ 松居幹事報告

1. 次回例会終了後、理事会を行いますので新旧理事・役員の方々はお残り下さい。
2. ロータリーの適用相場が現在1ドル240円のところで、7月1日より237円に変更されますので御連絡いたします。
3. 第22回東山ボート無料練習会が、今回千種RC主催で行なわれますのでよろしく御協力をお願いします。
4. 名古屋RC主催の第20回ロータリー少年キャンプの申込書が入れていますのでよろしく御検討下さい。

◇ ポール・ハリス・フェロー記念メダル授与

浜口龍男君

◇ 水野(民)会長挨拶

第43回の例会が、クラブアセンブリーの形

で夜間例会で行われますが、原則的のクラブ例会について一寸申し上げたいと思います。

東京・大阪・名古屋等の大きなRCでは99%例会の変更はありません。なぜでしょうか。外国へ行った場合、又商用で、又遊びで他の地区へ行って例会に出ようとしても、出ることが出来ないからです。RIでも地区でも出来るかぎり例会の変更はすすめておりません。

職業奉仕の委員会第4部会でも、近藤PGから話が出ました。「職場例会の利点はあるだろう。しかし出来れば、職業奉仕委員会とか家族会とか、別の方法によってやられるのが本則である。是非守って頂き度い」と。

その様な事から、今日の例会でも例会がないと makeup が多い。又駅前の土曜の都ホテルの守山RCでは、スピーチをきかずに帰る状態で全くこまったもので、ロータリー精神の逸脱も甚しいことです。これらを防ぐ意味からも次年度は例会の変更のない事を希望したいと思いますが、あくまで理事会の意志によって決められればよいことでしょう。

◇ 1983~84年度 地区協議会報告

次期会長 竹内真三君

1983~84年度のための260地区協議会が6月19日(日)名古屋市公会堂で開催され、千種クラブからも次期役員8名が出席義務者として出席した。奥沢次期ガバナーよりRI次期スケルトン会長の Share Rotary-serve people のテーマの趣旨の説明を含めての挨拶がありました。その後、各分科会に別れて夫々熱心な討議が行われ、私は会長部会へ出ましたが、そこでは Share Rotary に伴う、会員の質の問題が可成突込んで話し合われ、又、量の拡大に対してもテリトリーの件、職業分類の再検討等が話合われました。次期幹事 三輪 康君

幹事部会においては伊藤(光)地区幹事及び花岡次期地区幹事が司会者となり、現、次期会計長がアシスタント及びパネラーとして、83~84年度の行事予定の概略が説明された。その後、次年度R I会長の方針の一つ、会員増強の問題について討議がなされ、会員平均年齢の高齢化の問題と、会員の質という非常に抽象的な問題について議論が集中していた。

時間的な制約もあって結論らしいものは出なかったが、後半は幹事心得としての講義と、協議会開催にあたって事前に各クラブに次期ガバナー事務所から出されていたアンケートのうち、規約審議会(3年に1回ある)で徹底の要求があった。30%ホームクラブ出席義務と、会長エレクトというポジションを置いて欲しい、という要望があった。

当日出席クラブの大半は、副会長が会長になるというパターンをとっているようであったが、定款上では会長エレクトと副会長が兼任するということは許されないということであった。

しかし各クラブそれぞれ事情があるであろうから、それなりに定款をクリアする便法なりなんなりを今後の課題として、幹事部会は予定時間を10分超過して終了した。

次期会員増強委員長 鈴木 猛君

まず北野リーダー(長野)、福田パネラー(江南)などから次年度のR Iのテーマの眼目が会員増強におかれていること、このため本部から送ってきたキットには、目標達成のための様々な図表の作成が要望されていることなどの解説が行われた。また会員増強は、会長、幹事、副会長、委員長の強い意見決定がなければ容易に実現できないものである。特に関連する職業分類委員会では、毎年8月31日までに未充填の名簿を作成のうえ、未充填の職業についての会員増強をはかる必要がある。また会員選考委員会においては、質の低下にならぬよう、また会員の年齢、職業などを含めウェル・バランスの構成になるよう配慮する必要があることなど討議に先だつての解説があった。

自由討議では、質か量か、非推薦者のプライバシーの保護の問題、会員増強の具体策などについて熱心に意見が交換された。

次期職業奉仕副委員長 小林正幸君

冒頭、職業奉仕の理解促進のため、4月10日、職業奉仕をメインテーマに南信第2分区で実施されたIGFのレポート紹介あり要一読。

水野パネラー：「行動計画」立案について説明あり、特に業種毎の「職業会議」開催方提案、奉仕のあり方を掘り下げること。

10月は職業奉仕の月間、理想の実践に取り組むとともに精神的引締め計画をはかる。

宮川アシスタントリーダー：効果的な表彰方式のあり方、特に日頃表彰をうけられない層、人への関心を深めること。例会を活用した職業奉仕に関する討論会の活発化、結論不要。近藤アドバイザー：奉仕のあり方は時代の流れに従って変わってゆくもの。「職業を通して、しっかりやろう」の基本精神が大切、余り固くむずかしく考えなくてもよい。その他、例会の運営方法、職業奉仕と職場例会のあり方など活発な質疑応答があった。

次期社会奉仕委員長 菊池昭元君

社会奉仕活動は広範囲に亘るため会員一人一人の理解と協力がなければ出来ない。費用も相当要するので予算の御配慮も願いたい。

今年の指導は金や品物の贈呈ばかりでなく。精神的な奉仕を考えるべきである。然し市内14クラブの合同奉仕活動には参加せねばなるまい。

会員1人当3,000円位当クラブとしては≒15万当クラブは発足1年目、他クラブの協議会に於ける活動を参考に、今年度は計画をしたい。各クラブの今年度の計画を拝聴する限りにおいては、社会のニーズを調査し、その地域の奉仕が社会奉仕であると感じる。

次期青少年奉仕委員長 西川豊長君

奥澤ガバナーエレクトは、挨拶の中で、次年度のターゲットの一である **Serve People** につき、個人的意見としながらも、特に青少年問題に取り組みたいという意向を明らかにされた。ついて、青少年奉仕の分科会では、リーダーの川瀬(保)パストガバナーより世界の先進国はみな青少年の動向について悩んでおり、日本も例外でないとし、ヒルシュマイヤー先生著「西ドイツと日本」の一節を引用して西ドイツの例を紹介し、さらにあまロータリー小野實会長著「栄光の負け犬たち」により、私立弥富高校卒業生の活躍振りを紹介された。討議では、ローターアクト、インターアクト結成の状況、体験談が各クラブ代表から紹介され、ロータリアンは日常接する青少年たちの中で、見逃がしてはいけないと思うような言動に出くわしたら、これを指摘し反省を求める勇気と行動が必要ではないかと強調された。

◇次回例会(6月28日)

卓話“留学生談義”

会員 矢野 勝久君

◇次々回例会(7月5日)

新・旧会長挨拶

前年度皆出席者表彰